

もっと清水が好きになる。

しみの風

2023

7

No.597

特集

話そう！
これからの清水の
農地利用





グローイング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

青木 雄基 (34) さん

JALしみず青壮年部 部長

○あおき ゆうき／こん太生産者。第50回JALしみず青壮年部通常総会で青壮年部長に就任。

**農業仲間を作るため
青壮年部へ**

清水区鳥坂で「こん太」を栽培する青木さんは、葵区瀬名川で生まれ、サラリーマン家庭で育った。縁あって2015年に就農。高部支部の青壮年部員から声をかけられ、「農業者と知り合う良い機会かもしれない」という思いから、青壮年部に入る決心をしたという。

青壮年部に入り、2年目には高部支部長に就任した青木さん。同じ年代の他支部の支部長らと話をすることで、青壮年部との関わりがより一層強くなった。その後、本部の副部長やJA静岡青壮年連盟の委員などを歴任。今年4月の第50回青壮年部通常総会で青壮年部長に就任した。

つながりをもう一度

農家は一人仕事が多いが、青壮年部に入れば同世代の農家とつながりを持つことができる。気心の知れた仲間たちとなら、草刈りや鳥獣害対策も楽しんでやることができる。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、青壮年部の活動も制限せざるを得ない状況が約3年間続いた。部員が青壮年部活動から離れて生活してきた中で、もう一度

第50回JALしみず青壮年部通常総会



一緒に青壮年部を盛り上げていく2023年度の役員たち

より魅力ある青壮年部を目指して

青壮年部に戻ってきてもらえるか、部長として不安も感じるという。イベントや農産物のPR活動に取り組みたいが「その前に、部員の気持ちを青壮年部活動に戻せるようなコミュニケーションをとっていきたく」と語る。

活動により付加価値を

「活気を取り戻し、活動が儲けにつながっていくように工夫したい」と青木さん。肥料や人件費、燃油等の農業資材の値上がりや課題となっている中、農産物の価格は上がらない状況が続いている。行政に政策要請等で働きかけを続ける一方で、「より所得向上につながるよう、青壮年部活動を、盛り上げていきたい」と話す。

農産物PRの方法や補助金の申請について学ぶ場、青壮年部活動自体が収入になるような取り組みなど「部員にメリットを感じてもらえるような青壮年部の姿を考えたい」と、これからの青壮年部の在り方を見つめる。



鳥獣害対策をする青壮年部員



プロモーション動画「アグリレンジャー」では悪役に扮し、仲間と撮影を楽しむ青木さん(左から2人目)

CONTENTS

しみずの風

2023
7
No.597



記事の一部は Youtube で配信しています。

2 Glowing Face
青木 雄基さん

4 特集 /
話そう!
これからの清水の農地利用

8 TOPICS

10 本格・畑づくり
～ キャベツ ～

12 営農ワンポイント
～ 8月編 ～

15 キッチンとおいしい!すぐできレシピ
～ 枝豆とカジキのカレー-黒酢炒め～

16 農業の未来とSDGs/
食に関する実体験の記憶
地域農業や食への思いの土台に

17 花笑む!Woman

18 Information

20 ゆるっと発見!しみずの魅力
～ 由比地域 ～



堀池 梅子さん
(静岡市清水区但沼町)

堀池さんは、大分県日田市大山町で開かれた「第5回全国梅干コンクール(2007年)」で最優秀賞を受賞した梅干しづくりの達人。大切に育てた梅を、こだわりの塩と赤ジノだけで漬けた昔ながらの味付けがこだわります。本年産は、8月下旬から直売所などで販売されます。

今月の表紙

話そう！

これからの清水の農地利用

「人・農地プラン」から「地域計画」へ

農地利用の将来像を描く「地域計画」作りが全国的に進んでいます。当JA管内でも所得向上に向けた生産基盤の強化に取り組んでいます。

今号では足腰の強い農業基盤を目指す「地域計画」とは何かを探ってみました。

国は、2022年5月に農業経営基盤強化促進法等(基盤法等)の改正法を成立させました。今後の農地利用を明確化する「地域計画」を定め、農地の受け手を確保しつつ、農地の集積・集約化を進めるためです。そして今年の4月から「人・農地プラン」を地域農業の将来像の在り方を示した「目標地図」と合わせ「地域計画」とし、策定と実行を加速化させる計画となっています。

県内各市町が2019年から約3年かけて実施した農業者アンケートでは、後継者が不在または未定の農地は約9600haとの結果が出ています。今後、当JA管内でも高齢化や人口減少により農業者の減少や耕作放棄地の拡大が心配されます。耕作放棄地拡大を防ぐには、農地の集約化などの取り組みが必要です。

■人・農地プランとは

地域の高齢化や担い手不足が全国的な課題となる中、国はこれを解決するために、農地の集積を進め、地域における営農の中心となる経営体(農業者)を確保し、地域の農業を守り、持続していくことを目的として、「人・農地プラン」の作成を強力に推進してきました。

「人・農地プラン」とは、地域で将来的に誰がどのように農業を進めていくの

かを話し合って作る計画(プラン)で、

具体的には、地域に担い手は十分にいるか、今後、地域で中心となる経営体(農業者)は誰なのか、その中心経営体へはどうやって農地を集めるのか、その地域においてどのような農業経営をしていくのか。

そういったことを話し合い、将来の在り方などを明確にして、市町村より公表される計画が、「人・農地プラン」と呼ばれています。

人・農地プランとは

- 1 アンケートなどによる農家への聞き取り調査の実施で農業者の年齢と後継者の有無などを確認。
- 2 アンケートなどの結果を基にした地図により、5～10年後に後継者がいない農地面積を「見える化」。
- 3 地図を基に、農業者、市町村、JA、農業委員会、土地改良区などの関係者が話し合いを行い、5～10年後の土地利用を担う経営体の在り方を決めていく。

将来の農地利用を担う経営体になる人がいない場合には、新規就農者や入作を希望する認定農業者などの地区外からの受け入れを促進する方針を定める。



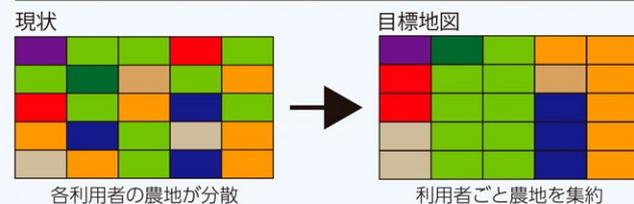
地域計画策定の流れ

基本構想を作成している市町村が、集落などの地域ごとに、農業者・農業委員会・農地バンク・土地改良区・JAなどによる協議の場を設置。農業の将来像や農業利用区域と保全区域の整理などについて話し合う。

協議結果を公表

市町村が区域、農業の将来像、集積・集約化目標を定めた地域計画案を作成。担う者ごとに農地を定め、地図に表示(=目標地図)。

目標地図のイメージ



■地域計画とは

2023年4月1日に改正された農業経営基盤強化促進法により、「人・農地プラン」が「地域計画」と名称変更され、2024年度末までに各市町村が策定する必要があります。

「地域計画」では、新たに10年後を目指す地域の農地利用を1筆ごと

に示した目標地図を作成します。目標地図を基に、地域農業の将来の在り方や農地の集積、利用が困難な農地の保全を含めた利用方法、効率のかつ総合的な農地利用を農家を中心とした農業関係者が協議。地域の幅広い意見を取り入れながら話し合いを進め、農地を次の世代に着実に引き継いでいくため、一層踏み込んだ議論を促す計画です。

■地域の農業について話し合おう

「人・農地プラン」のアンケートや目標地図を基に協議する主な内容は大きく以下の3点です。

1 当該地区における農業の将来の在り方

区域の現状や課題を踏まえ、高収益作物への転換、輸出向け農産物の生産、有機農業の導入等、地域で目指す農業の将来像を協議。

2 農業上の利用が行われる農地等の区域

農業振興地域を中心に農業上の利用が行われている農地等の区域を設定しながら、条件が悪いなど、農業上の利用が困難である農地をどのように保全していくか協議。

3 その他農地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項を協議

1、2を基に、10年後の将来の目指すべき姿に向け、農用地の集積、集約化の方針や農地中間管理機構の活用など必要に応じて協議し、取りまとめます。

「地域計画」の策定や実行は図①のような流れになります。農家の高齢化と担い手不足は全国共通の課題であり、現状をきちんと理解するには、数字などで《見える化》することが欠かせません。

個々の農家だけでなく産地として農地を継承するためには正確な調査が重要となります。当JA管内では、これまでの取り組みにより、多くの地域の「人・農地プラン」が実質化されました。

また昨年、新丹谷基盤整備地がモデル地区に指定され、静岡市が主体となってアンケート調査を進めています。今後、他地区でも調査が行われる予定です。

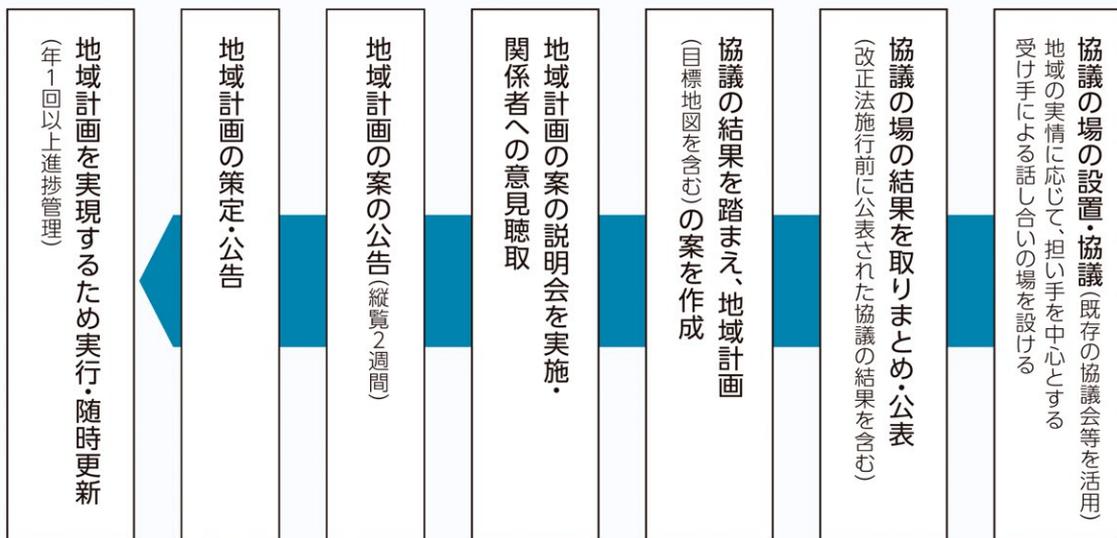
10年後の清水の農業の振興を目指すには、地域が一体となって将来を見据えた「地域計画」が必要不可欠です。

地域計画の策定・実行までの流れ

図①

地域計画の策定・実行

2023年4月(施行)～2025年3月末



地域計画を策定した地区やその他地区で将来の農地利用を担う経営体となった方には、いろいろな支援策があります。

- ① 地域計画に活発に取り組んでいる**地区を対象とする支援措置**
- ② 地域計画において**将来の地域利用を担う経営体を対象とする支援措置**

①地区を対象とする支援

- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ
- 機構集積協力金のうち地域集積協力金
- 機構集積協力金のうち農地整備・集約協力金(農地耕作条件改善事業の実施地区)



②地区の将来の農地利用を担う経営体を対象とする支援

- 強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち先進的農業経営確立支援タイプ及び農地担い手支援タイプ
- 農業次世代人材投資事業(経営開始型)
- 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業、担い手経営発展支援金融対策事業(スーパーL資金金利負担軽減措置)



※この他、農業関連の補助事業を利用する際には「地域計画」の策定が必要となってきます。

interview

農家同士で話し合おう!



一般社団法人静岡県農業会議
西ヶ谷 量太郎 会長

清水区のミカン農家で、新丹谷土地改良区の理事長や静岡市農業委員会の会長を歴任。

2022年に静岡県農業会議の会長に就任。農業委員会や行政と連携し、担い手への農地集積や遊休農地の再発防止、新規就農者の促進などを行っている。

全国的に食料自給率が下がる中、農業生産額を増やし、農家の所得を向上させようとさまざまにな取り組みが行われています。生産効率を上げ、耕作放棄地を減らすため、農地の集約化、人材の確保・育成がますます重要になってきました。

地域計画策定には、地元農家の話し合いが不可欠です。農家の意見を政策として国や県へ訴えていくことが重要になってきます。

農業生産性を上げ、儲かる農業を目指すことで、地域内から新たな農業を生み出すことができれば、耕作放棄地が減るのではない

かと思っています。

地域計画は、コーディネーターや専門家に来てもらいながら、農業委員、推進委員をはじめ、関係機関の人たちの話も聞きながら、地元農家が意見を言い合い、地域の将来について具体的な計画を出してもらうことが重要となってきます。

地域のことは地域の人たちが一番詳しいので、自分の地元をどのようにしていくのか話し合い、みんなで共有して、行政に応援してもらおう形が理想ですね。誰もが集約化された農地で楽しく働ける農業になることを望みます。

各地域の活動やイベントなど、
さまざまな話題を紹介します。

プラム部会

爽やか初夏の味「スモモ」出荷

甘酸っぱい初夏の果物、露地スモモ「大石早生」の出荷がJA集出荷センターで5月31日から始まりまし。清水区ではプラム部会の12人が3.0haで栽培し、今シーズンは約18tを出荷する予定。

同部会の杉山國和部会長は「春先の降雨と低温の影響で、着果が少なく大玉傾向。味は申し分ない」と話しました。「大石早生」に続き、6月中旬からは果肉が鮮やかな紅色の「ソルダム」、7月中旬からは果汁が多く糖度が高い「太陽」と、品種を替えながら8月上旬まで出荷が続きます。



▲ 出荷基準を確認する生産者ら

JAしみずみかん大会

一丸となり農業所得の向上を目指す

JAしみずは5月26日、第35回JAしみずみかん大会を静岡市清水文化会館マリナートで開催し、柑橘生産者の代表やJA関係者など約200人が参加しました。

2022年度の実績報告と2023年度のミカン振興方針を決定。生産者と組織が一丸となり、集荷量の確保、販売力の強化、農作業事故の防止に取り組むことなどを確認。同大会長の柴田篤郎組合長は「資材高騰による経営の圧迫に加え、昨年の台風15号では甚大な被害を受けた。引き続きさまざまな課題を解決し、飛躍につなげるために取り組む」と呼び掛けました。



▲ 4年ぶりに開いたJAしみずみかん大会

興津びわ部会

初夏の特産 ビワ大きめ

JAしみず興津びわ部会は6月2日、JA東部集荷場で初夏の特産品、ビワの出荷を始めました。同部会では、東海道の景勝地として知られる薩埵峠周辺で10戸が栽培。この季節だけしか味わえない旬の果物として人気です。

中西雅士部会長は「1月の低温の影響で花の受粉が少なく、収量は昨年より少ないが、大玉傾向で、味や食味は例年通り」と話していました。

6月中旬までに約2800パックを静岡市内の青果市場やスーパーへ出荷しました。



▲ ビワの品質を確認し、出荷するJA職員と部会員ら

女性部袖師支部

「家の光」リース作り楽しむ

JAしみず女性部袖師支部は5月23日、袖師支店で「家の光」掲載のリース作りを楽しみました。

コロナ禍が落ち着きメンバー同士の交流を活性化させようと、斉藤芳美支部長が呼び掛け、15人の部員が参加。使用済みの段ボール箱、お菓子・花などのラッピングペーパー（不織布）を再利用し、華やかなリースを作り上げました。

斉藤支部長は「これからも楽しめる活動を企画し、部員全員が参加できるようにしたい」と、話していました。



▲ リース作りに取り組む部員

JAしみず女性部

サツマイモ苗植え付け

JAしみず女性部は5月15日、清水区庵原町の畑でサツマイモの定植を行いました。

同部役員など15人が参加し、約70㎡の畑に、全員で畝を作り、マルチシートを設置。

参加者は、慣れた手つきで手際良く作業を進め、約120本の苗を植え付けました。

10月の収穫まで部員が当番制で管理し、収穫したサツマイモは11月19日に開くアグリフェスタしみずに出品する予定です。



▲ 畑の畝立てをする女性部員

女性部リーダー研修会 支部活動を共有、組織の活性化へ

JAしみず女性部は6月7日、庵原支店で女性部リーダー・事務局研修会を開き、女性部員とJA職員の94人が参加しました。本研修会は、組織の強化と活性化がねらい。

各支部が特色ある活動を発表し、お互いの活動を共有しあいました。講師の(一社)日本協同組合連携機構の小川理恵さんは、「活動の可能性を広げていくにはリーダーの存在が不可欠」と話し、組織を強化していく方法を示しました。

望月和加代女性部長は「大変勉強になった。部員や組織間のハードルを下げて、気軽にコミュニケーションをとれる環境を作っていけたら」と話していました。



▲ 女性部役員が参加した研修会

折戸なす研究会 久能山東照宮へ「折戸なす」奉納

JAしみず折戸なす研究会は6月1日、徳川家康公を祭る静岡市駿河区の久能山東照宮で「折戸なす」を奉納し、豊作を祈念しました。「折戸なす」は、徳川家康公に初物を献上した記録が残り、外観は加茂ナスに似た丸ナス。同研究会の桜田盛己会長らが献上当時を再現し、直径3、4センチほどの早取りの「折戸なす」5個を竹籠に詰めて奉納しました。

明治以降、栽培が途絶えていましたが、国の試験場にあった種子を2005年に発芽させ、生産者や県、JAが地域の特産品づくりのため栽培を再開させました。現在は生産者6人が約20aで栽培し、12月ごろまで約8tの出荷を見込んでいます。



▲ 「折戸なす」を献上した研究会のメンバーと関係者

梅ヶ谷環境保全会 官民連携で放任竹林伐採

梅ヶ谷環境保全会は5月31日、静岡市役所環境共生課の協力を得て梅ヶ谷地区の「ふれあいの里」で竹林の伐採を行いました。

同市役所東京事務所の募集により首都圏からも応募があり、関係者ら約30人が参加しました。環境保全会の指導で参加者が竹林の竹をノコギリで切り出しました。

切った竹は粉砕機で竹チップにし、蒲原にあるトライアルパーク蒲原の遊歩道に使いました。参加者は「竹林がすっきりして満足です」と振り返っていました。



▲ 梅ヶ谷の放任竹林を伐採した参加者

高部東小3年生 梅の収穫体験楽しむ

清水高部東小学校3年生100人は6月5日、学区内の広場「ふれあいの里」で、梅の収穫を楽しみました。清水区梅ヶ谷地区の住民らが管理する約30aの梅園には南高、白加賀など約60本の木が栽培され、児童たちはたわわに実った梅をもぎ取って袋いっぱい詰めて、「家に帰って、梅ジュースにしよう」と笑顔を見せていました。

管理人メンバーの田島清治さんは「今年の作柄は大変良く、大きな梅が多い。梅の実を収穫する楽しさを味わってほしい」と話していました。



▲ 梅の収穫を体験した児童

両河内小中学校 学校茶園で茶摘みを体験

両河内小中学校は5月1日、児童・生徒と関係者約110人が同校茶園で茶摘み体験を行いました。同地域の自然の恵みに感謝し良さを体感してほしいと、茶農家の片平豊さんら茶園管理サポーターと協力して企画。

片平さんから「1芯2葉(一つの茎に2枚の新芽)で摘んで」と新茶の摘み方を聞き、約72kgの茶葉を収穫しました。

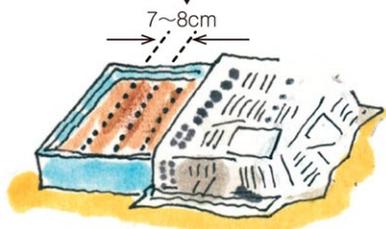
下田朋子教諭は「茶摘みを通して両河内の農業や将来の姿を考えるきっかけになってほしい」と、児童生徒らの意識に期待していました。



▲ 茶摘みを行う両河内小中学生

① 苗作り

7~8cmの間隔で
すじまきをする。



覆土後は発芽
するまで新聞紙
を掛けておく。

箱まき

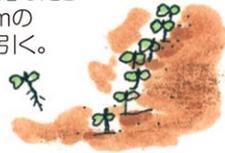
※育苗は通風と排水の良い所で行い、徒長に注意する。

ポット苗 少ない本数ならポリ鉢にまくのが便利。

本葉2枚のころ、
直径9cmの
ポリ鉢に移植する。



本葉が出始めたら
1.5~2cmの
株間に間引く。

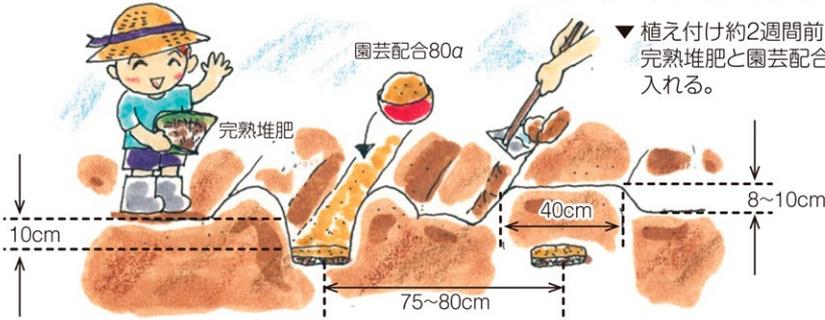


本葉5~6枚
の苗に仕上げる。



② 畑の準備

▼畑は空き次第、全面に苦土石灰をまき、
20cm程の深さで耕しておく。



1aあたり堆肥を90kg、園芸配合80aを30kg施用する。



キャベツ

ビタミンCが多く、胃腸障害に良いビタミンも
多いのが特徴。アミノ酸組成にも優れ、生で良し、
煮て良しの健康野菜の王者。
冷涼な気候を好みますが、栽培適温は15~20℃。
耐寒性・耐暑性があり、露地条件でも北から南まで
広く栽培できます。ただし高温には弱いほうで、
真夏に良い球を得ることは高冷地でないとなりに難し。
また、秋まき春どり栽培では、春のとう立ちが
問題となりますので、品種とまきどきの選定を
間違えないようにしましょう。



■栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春まき栽培				●	◆	■						
夏まき栽培	■						●	◆				■
秋まき栽培				■					●	◆		

● 種まき ◆ 植えつけ ■ 収穫

上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

【ご注意ください】 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

※農薬は、ラベルに記載された安全基準を守って使用しましょう。
※ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。

グリーンセンターおススメ! アイテム



イヤーな虫の天敵 オニヤンマ兄弟

害虫たちの天敵を利用した
虫除け対策!
リュックや帽子につけるだけで
蜂や蚊、アブ、ブヨ、蛾、
カメムシといった
害虫避けに効力を
発揮します。

990円(税込)



グリーンセンター

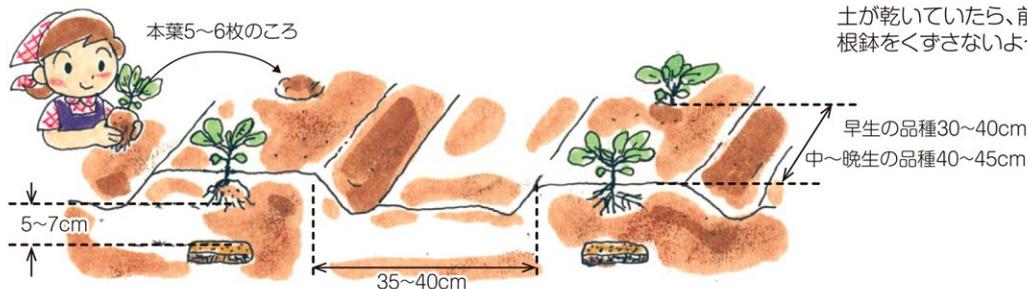
天野 涼太

■ 商品については...



グリーンセンター
054-367-2112

③ 植え付け



土が乾いていたら、前もってたっぷりとかん水しておき、根鉢をくずさないよう、丁寧に苗を抜いて畑に植え付ける。

④ 追肥

第1回

1回目は植え付け後15~20日目に、畝の片側に肥料をばらまいて土寄せする。

ほう素入り粒状固形肥料080



第2回

2回目は、1回目と反対側の畝に肥料をばらまき、土寄せする。

草丈15~20cmの頃と、その後20~25日ごとに、合計3回ほど追肥する。

※1回あたりほう素入り粒状固形肥料080を1aあたり9kgを施用する。

第3回

最後の追肥は結球しはじめのころ、前回とは反対側に同様に施す。

⑤ 防虫・防寒



べたがけ資材でキャベツを直接覆う。風で飛ばされないように止める工夫をする。株に直接触れないように、空間を空けて張ること。

農薬を用いない場合は、べたがけ資材を用いないと成功しにくい。

⑥ 収穫

手で押さえてみて固く締まってきたら収穫適期。

収穫は株元へ包丁を入れて切る。



※収穫が遅れると裂球してしまうので要注意。



結球開始期



生育ざかり

Q 夏まきキャベツの苗がうまく育ちません。

ここが知りたい! Q&A

A 風通しの良い育苗場所で管理します。

夏場は苗作りの難しい時期です。しかし苗さえ上手に育てて活着させられれば、あとの栽培がしやすいので、苗作りにポイントをおきましょう。
真夏の育苗は、風通しの良い涼しい場所を選び、日中の日差しが強いときは寒冷紗などで遮光しましょう。
近ごろはセルトレイやポリ鉢で、は種・育苗する例が多くなりました。この方法は根鉢をくずさずに畑に根を出すことができ、また、涼しい所へ移動することもできるなどの利点があります。
なお、鉢土は排水の良いことが大切ですので、育苗用の培土を使用するようにしましょう。

■病害虫防除

散布量：30ℓまで/1a

病害虫	薬剤名	希釈倍率、使用量	使用日数	使用回数
アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	アフーム乳剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで	3回以内
アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	2,000~3,000倍	収穫3日前まで	3回以内
軟腐病・黒腐病	ボルドー	500~1,000倍	-	-

■施肥例

施肥量：1aあたり

時期	種類	施肥量	施用時期・方法
元肥	苦土石灰	9kg	作付20日前施用
	朝霧高原の牛ふん堆肥	90kg	作付10~15日前施用
	園芸配合80α	30kg	
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	9kg	④追肥の項を参照



8月は、翌年一番茶の親葉となる三番茶の生育期間です。

光合成が活発に行われる夏から秋までの期間に葉層を確保し、茶樹自身の力を活性化させ、翌年の一番茶で高品質な生葉が生産できるように、樹勢の強い茶園作りをしていきましょう。

■ 病害虫防除

8月の最も重要な茶園管理は、三番茶の防除です。

害虫に対しては、初期防除を徹底してください。また、病害防除は気象を見ながら予防剤と治療剤を使い分けことが重要です。

近年、褐色円星病の発生が増加しています。一番茶時に旧葉が落葉した茶園では、三番茶芽が生育停止時期となる8月中旬頃に予防剤を混用散布しましょう。

■ 施肥

J Aが実施する土壌分析を活用し、茶園土壌の状態を確認しましょう。

深耕を行う前に土壌改良材を施用します。表②の基準に沿って実施してください。

有機物が不足している茶園では、土づくり資材を投入してください。

■ かん水

夏場に乾燥が続いた場合、干害の症状が現れる前に、かん水を実施してください。

更新園では、新芽の生育に影響が出やすいので、特に注意が必要になります。

土壌を掘って、20cm位まで水分がない場合は、目安として4t/10aを4日から5日に分けてかん水してください。

また、熱中症等を避けるためにも、朝夕の涼しい時間帯に作業を行いましょう。

■ 深耕

深耕は、土壌の物理性を改善することで、根の生育に適した環境を作るために必要な作業です。深耕によって団粒構造が形成され、透水性・通気性が高まり保肥力・保水力の優れた土壌になります。また、有効土層が深くなることで再生根が健全に増長し、活力の高い根となります。活力の高い根が多く張ることにより、肥料の吸収効率が高まり、品質の高い生葉づくりにつながります。

なお、実施時期は、三番茶の生育停止時期となる8月中旬頃とし、根が活性化する前に行います。深耕の時期が遅れてしまうと、根が回復しないうちに秋を迎えることになり、翌年一番茶の生育への影響が生じる恐れがあるので、適期に実施するよう注意しましょう。



表① 病害虫防除

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
三番茶 2~3葉開葉期	炭そ病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	7日	2回
	チャトゲコナジラミ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシャク カンザワハダニ チャノナガサビダニ チャノホコリダニ マダラカサハラハムシ	コテツフロアブル	2,000倍	7日	2回
8月中旬	炭疽病・もち病・褐色円星病・新梢枯死症	コサイド3000	1,000倍	14日	—
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ マダラカサハラハムシ チャハマキ・チャノソコガ チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシャク	エクシレルSE	2,000倍	7日	1回

※1：近年、秋の長雨の影響で、山間地を中心に炭疽病の発生が目立つ。褐色円星病の予防と兼ね、コサイド3000を混用する。展着剤アピオンE（2,000倍）を加えることで、耐雨性が向上し予防効果の持続が期待できる。

表② 施肥

(10a当たり)

施肥名	施肥時期	コース名	肥料名	施肥量
土壌改良	7~8月(深耕期)	「基本」「こだわり茶園」「省カロング」	苦土石灰(粉)	5袋

※苦土石灰(粉)が撒きにくい場合は、苦土石灰(粒)に変更してください。

■ 病害虫防除

表①を参考に防除してください。スリップスの発生に注意し、散布時期を調整してください。また、夏季は原則ミカンハダニの天敵保護に努めてください。



■ 管理作業

青島温州へのマルチ資材の被覆は増糖効果が期待できません。被覆完了時期は8月上旬を目安にしましょう。

極早生や早生、中晩柑は仕上げ摘果の時期です。表②を参考に摘果してください。

中晩柑の減酸対策として10月頃まで水分管理に努め、園地や樹体の状況に応じてこまめなかん水を実施してください。

表① 病害虫防除

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
青島温州	7月下旬～8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日—3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤 ^{※2}	600倍	30日—4回	×
	8月下旬～9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※3}	2,000倍	21日—2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日—1回	○
中晩柑	7月下旬～8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日—3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤 ^{※2}	600倍	90日—4回	×
	8月下旬～9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル	2,000倍	21日—2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日—1回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤 ^{※2}	600倍	90日—4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数—散布回数」をあらわす。 ※2 耐水性向上を図るため、黒点病防除薬剤剤散布時には、アピオンE1,000倍を混用散布する。

※3 キラップフロアブルは、着色期以降に使用すると葉害が発生する恐れがあるため、使用しない。

～その他共通注意事項～ ・夏季は原則ミカンハダニの天敵保護に努める。しかし、多発時にはコロマイト水和剤2,000倍(7日—2回)を散布する。

表② 管理作業

品目	摘果する果実	残す果実	仕上げ摘果終了時期目安	最終適正葉果比
極早生	日焼け果・外観不良果・軸太果・天なり果	軸の細い 大きめの果実	8月上旬まで	20枚に1果
早生温州			8月中旬まで	25枚に1果
はるみ	直花果、軸太果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、 内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・外周部の有葉果 ・10cm以上で5枚 程度の有葉果 ・果梗枝の細い有葉果	8月中旬まで	120枚に1果
太田ボンカン	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3全摘果(主枝・亜 主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果		9月上旬まで	100～120枚に1果

■ 挿し木

6月から7月中旬の梅雨挿しが良く10cm程度の長さに切って挿し穂にしますが、20～30cm程度の長い挿し穂を利用することもできます。



■ 苗木の管理について

寒冷紗等で日覆いをします(遮光率60～70%)。挿し付け後、2～3カ月は床面が乾燥しないように適宜かん水をしましょう。苗木の管理で最も重要な作業はかん水です。

■ 病害虫防除

良品を作るためには、5月～9月の間に数回定期的な防除が大切です。一般的に、日陰地や風通しの悪いところでは病害虫が発生しやすいです。また、主な害虫は葉裏に多くいるので、薬剤散布する際には葉裏に散布するよう心掛けましょう。



■ 管理作業

表①を参考に防除してください。
病害虫予防のため、園内清掃に努めるとともに通風・採光を良好に保ちましょう。イチジクでは、アザミウマ類の発生に注意してください。

■ 管理作業

表②を参考に施肥を実施してください。
夏季の乾燥で葉の萎れや、落果の恐れがあります。果実の肥大や樹勢に影響するため、晴天が数日続いた時にはかん水するようにしてください。特に苗木の乾燥には十分ご注意ください。
梨やイチジクは収穫時期になります。日中は、気温が高く果実が傷みやすいため、比較的気温の低い時間帯に収穫してください。また、腐敗果の発生がないよう丁寧な収穫と選別を心掛けてください。

近年、梨の果皮色と果肉の熟度が比例しないことがあります。食味に基づいて収穫適期を判断してください。



表① 病害虫防除

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}
イチジク ^{※2}	8月	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	前日—1回
		疫病	ランマンフロアブル	2,000倍	前日—3回
		さび病	ラリー水和剤	2,000倍	前日—4回
柿(次郎、四ツ溝)	8月上旬	フジコナカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2,000倍	前日—3回
		カキノハタムシガ			
梨(幸水、豊水)	8月上旬	ハマキムシ類	アグロスリン水和剤(劇)	1,000倍	前日—3回
		シンクイムシ類			
		カメムシ類			

※1 使用基準は「収穫前日数—散布回数」をあらわす。 ※2 ショウジョウバエが多発する場合は、アーデント水和剤1,000倍(前日-2回)を散布する。

表② 施肥

(10a当たり)

品目	施肥時期	肥料名	施用量
イチジク	8月中旬	粒状固形30号小粒	1.5袋
プラム	収穫後	V型ジシアン548	2袋

防除と出穂前後の本田管理

■ 穂肥

穂肥は一穂粒数の減少を抑え、出穂期までの稲体窒素濃度を高めて登熟を良好にすることが目的です。しかし、一度に多量に施用すると生育障害や病害の発生などを助長するため、十分な穂肥を施す場合は通常2回に分けて施用します。

1回目は原則として出穂25日前(主稈の幼穂長1~2mm)とし、2回目は、1回目から10日程度あけて施用しましょう。穂肥時期が早すぎたり量が多すぎると病害、倒伏などの悪影響を及ぼし、遅れると穂が小さくなり粒数が減少します。

施用は気象条件や品種、水田状況を考慮し、生育に応じて施肥を加減する必要があります。

■ 水管理

穂ばらみ期(出穂10~14日前)から出穂期の間は茎葉からの蒸散量が多く、水分不足が穂の伸長に影響するため水を切らさないようにします。

また、出穂後からは根の老化が始まりますので、今ある根を健康に長く維持させていくことが重要です。出穂期以降は7日入れて3日干す間断かん水にします。この方法は、常時かん水よりも根の活性が高まり、倒伏・秋落ちを防止して登熟歩合の向上につながるメリットがあるため必ず実行しましょう。

■ 病害虫防除

8月は紋枯病・いもち病・ウンカ類・ニカメイチュウ・コブノメイガ・カメムシ類の防除時期となります。発生する病害虫の種類・時期・程度は年によって異なるため、本年の気象状況に注意して的確な防除を心掛けてください。

出穂期間の水田周辺の畦や土手の除草は、かえってカメムシ類を本田へ追い込む恐れがあるため、出穂期の約10日前から黄熟期までは除草を控えるようにしてください。しかし、カメムシ類が大量発生した際には防除(トレボン乳剤、スタークル顆粒水溶剤、ダントツ水溶剤など)する必要があります。薬剤散布の収穫前日数には十分ご注意ください。





エダマメ …………… 200g(正味100g)
カジキ …………… 200g
ネギ …………… 15cm
赤ピーマン …………… 10g

[調味料]

黒酢 …………… 大さじ2
砂糖 …………… 大さじ2
しょうゆ …………… 大さじ1
オイスターソース …………… 大さじ1
カレー粉 …………… 大さじ1/2
ショウガみじん切り …………… 大さじ1/2
片栗粉 …………… 小さじ1
粗塩、酒、植物油 …………… 適宜



枝豆とカジキのカレー黒酢炒め

～素材が引き立つ!カレー粉と黒酢でうまみUP～

(1) エダマメの準備をする

エダマメをゆでて、サヤから出す。

(2) 他の材料の準備をする

- ① カジキに軽く塩をして10分置く。水気をふき、1.5cm角に切り、酒少々を振る**a**。
- ② ネギは5mm厚の輪切りにする。赤ピーマンは5mm角程度の粗みじんに切る。
- ③ 調味料を合わせて混ぜる。

(3) 炒める

- ① 冷たいままのフライパンにネギと赤ピーマンを入れ、植物油少々を絡める。全体がコーティングされたら、塩を振り絡める。

- ② フタをして点火し、強めの中火で1分加熱する。フタを取りカジキを加え、触らずに10秒焼く。裏返してさらに10秒焼く。
- ③ エダマメを加えてさっと混ぜたら、具材全部をフライパンの奥に押し、手前を空ける。

(4) 仕上げる

弱火にし、調味料をよく混ぜて片栗粉をしっかりと溶かす。フライパンの空きスペースに注ぎ手早く混ぜる。調味料にとろみが出たら、全体に絡める**b**。皿に盛りつければ完成。



切り身は洗うとうまみが逃げてしまうため、塩と酒で臭みを取ります。



調味料を直接具材にかけると、水分が出て水っぽくなるので注意。空きスペースでソースに火を通し、とろみが出てから混ぜるのがコツ。

水っぽくならない炒め物のコツ

「水っぽい炒め物」を防ぐには以下2つの方法があります。

① 調味料を煮詰める

② 片栗粉でとろみをつける

汁気のある炒め物にとろみをつける場合、合わせ調味料に直接片栗粉を加えるとダマになりやすく、扱いが楽です。片栗粉は溶けにくいので、調味料に加えた後と使う直前に、よく混ぜてください。



[今月の素材] エダマメ

筋肉材料として知られるタンパク質は、心に影響を与える脳内物質の材料でもあります。タンパク質と一緒に必要となるビタミンB6、鉄、亜鉛の含有量も、脳や心へ良い影響を与える腸内環境づくりに必須な食物繊維量も、エダマメは野菜類の中でトップクラスです。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ、栄養情報担当者(NR)、食育プロデューサー他

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



SDGsは国連が定めた、地球の明るい未来のための17の目標。
JAみずは2019年12月にSDGs宣言をしています。

農業の未来とSDGs

vol.25



国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の理念は、協同組合の「相互扶助」の活動に通じます。このコーナーでは、JAのSDGsともいべき協同活動を中心に、自己改革や新たな取り組みを紹介しています。



学校前の水田で稲刈りをする児童たち(2004年、飯田東小)

食に関する実体験の記憶 地域農業や食への思いの土台に

食育の基本的な理念を示した「食育基本法」が2005年7月に制定されてから、20年近くがたとうとしていきます。食育基本法は、子どもたちが豊かな人間性と生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要だと位置づけています。

食農教育は全国各地で行われ、JAみず管内でも組合員を中心に、地元



茶産地にある両河内小中学校では、毎年茶摘みを体験

の農産物に関するさまざまな取り組みが行われてきました。

飯田東小中学校では、種まきから稲刈りまで、米作りを体験して学ぶ授業を30年以上前から行っています。食育の先駆けとなる事例であり、米農家の赤堀充さんが父親から引き継いでサポートしています。

また、両河内中学校(現両河内小

中学校)でも、地域の特産である茶の栽培体験を行っています。こちらは、29年前から地元の茶農家「豊好園」が中心となって協力。新茶シーズンには約10アールの学校茶園で生徒が手摘みを体験し、製茶した茶を味わっています。

農水省が行った食育に関する意識調査(2023年5月)によると、農林漁業体験に参加したことのある人に参加後の変化を聞いたところ、「自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった」を挙げた人が66.4%と最も高く、次いで、「地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった」が43.9%となっています。

食べ物が家庭に届くまでには、生産・加工・流通などさまざまな過程があり、それらはたくさんの人の手によって支えられています。食に関わる現場や思いに触れ、実体験に基づいた記憶が地域農業や食への思いの土台となっほしいものです。

食育基本法に基づいた国の「第4次食育推進基本計画」では、「持続可能な食を支える食育の推進」を重点課題の一つとして取り上げています。



ウーマン Woman

新型コロナによる先の見えない状況がようやく緩和され、少しずつ「日常」が戻り始めました。この新コーナーでは、女性部が地域でいきいきと活動する様子を隔月で紹介していきます。

由比支部

女性部由比支部の由比加工グループは、毎週金曜日にグリーンセンター由比店で総菜などの販売を行っています。メンバーは6人で、由比支店がリニューアルした8年前から販売を開始しました。

手作り総菜で地元の味を伝える

販売日の前日に下ごしらえをして、当日は朝5時半から作業。取材日には、総菜や弁当18種類、約380パックを9時まで作り上げました。きんぴらや卵焼き、ちらしずしなど、素材本来の

メンバーが育てた野菜などを使用し、地産地消にこだわっています。



由比支部 月節子さん

風味を大切に、地元の特徴である甘みの強い味付けにこだわっています。販売日には多くの人が訪れ、JA職員のファンも多く、隣店からも注文が入ります。リーダーの望月節子さんは「皆に喜んでもらえるよう、長く続けられるように頑張りたいです」と話していました。



手際よく総菜を詰めていく、グループメンバー

袖師支部

川柳で地域に笑顔を

女性部袖師支部では、コロナ禍の在宅運動をきっかけに川柳に取り組み、部員同士や職員、地域との交流の活性化につなげています。

昨年度も「家の光」の川柳道場からお題を決めて作品を募集し、女性部員を中心に48人が参加。支店ロビーに集まった124句を展示し、投票で上位6句(お題あり3句、なし3句)を入賞としました。作品は「家の光」の川柳コーナーにも応募したところ、3句が入賞。誌面に掲載されました。

今年は、集まってできる行事を考えていきたいです!



袖師支部 齊藤 芳美さん

昨年に引き続き、入賞作品を同支部習字サークルのメンバーに書いていただき展示しました。支店では募集から入賞発表までの約4カ月間、川柳関連の展示をし、多くの人から「来店するのが楽しみ」という声が寄せられました。本年度も作品を募集し、皆で楽しむ予定です。



支店に掲示した作品募集の案内を見る来店者

「国消国産」レシピコンテスト

JAグループでは、国産の農畜産物を使った簡単でおいしいレシピを募集中!

「私たちの国で消費する食べものは、できるだけこの国で生産する」という「国消国産」の考え方を提起しています。ぜひご応募ください。

■ 募集期間 5月18日(木)～7月18日(火)

■ 募集部門 3部門ともメインとなる食材に「国産の農畜産物」を使っていることがレシピのルールです。

- 野菜たっぷりスピードおかず部門
- 白米がモリモリ進む! かんたん丼部門
- ミルク系スイーツ部門

■ 応募方法 「あたらしい日日(家の光協会運営ウェブメディア)」よりご応募ください。

https://nichinichi-magazine.com/PR/recipe_contest2023/

■ 入賞者決定 8月31日(木)

- 入賞賞品
- 〈最優秀賞〉 1名 トロフィーと5万円分のJAタウンギフトカード
 - 〈優秀賞〉 2名 トロフィーと3万円分のJAタウンギフトカード
 - 〈優良賞〉 3名 トロフィーと1万円分のJAタウンギフトカード
 - 〈佳作〉 50名 『おいしい野菜まるみえ図鑑』青髪のテツ著(サイン入り)

■ 主催 全国農業協同組合中央会

青髪のテツ × JAグループ

「国消国産」
レシピ
コンテスト

国産農畜産物を手に取って!
作って! 食べて! くださいね♡

5月18日(木)

7月18日(火)

野菜たっぷり!
スピード
おかず部門

白米が
モリモリ進む!
かんたん丼部門

ミルク系
スイーツ
部門



詳しくはWEBで!

清水厚生病院健康管理センター

乳がん検診のご紹介

乳がん検診室



マンモグラフィは、乳腺の中に発生する早期乳がんの症状である石灰化、腫瘤病変など小さな異常を発見することができます。

乳がんにかかる人数は近年増加傾向にあり、女性に見つかるがんの中では最も多いです。しかし、早期のがんであればおよそ90%の人が治癒と言われておりますので、検診で早期発見をすることが大切です。

静岡市の乳がん検診も利用できます

対象年齢 / 40歳以上(2024年3月31日時点の年齢です)。

受診間隔 / 偶数年齢(2年に1回)です。

40歳～49歳 マンモグラフィ2方向+触診

50歳～ マンモグラフィ1方向+触診

自己負担金 / 40歳～69歳(2000円)

70歳以上(無料)

※ 40歳の方にはクーポン券が静岡市から発行され無料で乳がん検診が受けられます。



清水厚生病院 健康管理センター
静岡市清水区庵原町578-1

TEL : 054-366-3769(直通)

FAX : 054-366-3407

☆ ドック、健康診断は全て予約制となっております。予約をご希望の方は、電話または直接ご来院ください。

☆ ドックなどのオプションのほか、乳がん検診のみ、子宮がん検診のみで受診することも可能です。主に金曜日の午後を実施しております。



ホームページ

策道(さくどう)撤去のご相談受け付けます!

老朽化した策道*は、台風など自然災害による二次被害の原因となり、危険です。撤去する場合は、専門の業者に依頼することをお勧めしています。撤去業者の紹介、その他お困りの際は、JAしみずにご連絡ください。



*「索道」は空中に渡したロープに吊り下げた輸送機器。農作業では主にミカンなどの運搬に使われ、架線(かせん)とも呼ばれています。

お問い合わせ

JAしみず購買課 TEL 054-363-0334
または、各地域営農センター・営農拠点窓口

農機農具掲示板

農業をやめたり、作物を変更したりした生産者の皆さんが不用になった農機や農具を、必要な方に有効利用していただくための情報提供の場です。

*種別はコンテナ・防除タンク・動力噴霧器・草刈機・チェーンソー・自走台車・茶刈機・耕運機・田植え機・ポンプ・モノラック・水耕設備・脚立・ポットなど、農機・農具であれば、範囲は特定しません。

譲ります!

種別：ボックス鉢
型式：(大)直径65cm 高さ40cm 黒色
(小)直径50cm 高さ40cm 黒色
数量：(大)73個 (小)64個
価格：応相談
その他：柑橘根域制限栽培で使用
連絡先：深沢(清水区由比東山寺)
TEL:090-3309-9754

お問い合わせ

JAしみず購買課 TEL 054-363-0334
または、各地域営農センター・営農拠点窓口

夏の交通安全県民運動

安全をつなげて広げて 事故ゼロへ

～夏の交通安全県民運動が実施されます～

■ 期間

7月11日(火)～7月20日(木)までの10日間

■ 統一主要行事

- (1)7月11日(火) 運動初日広報・街頭指導の日
- (2)7月14日(金) 飲酒運転等危険運転根絶の日
- (3)7月19日(水) 高齢者の交通事故防止強化の日

■ 運動の重点

(1)子どもと高齢者の交通事故防止

- ①通学路等の見守り活動
- ②交通安全教育の推進
- ③横断歩行者の安全確保
- ④自転車の安全利用



(2)二輪車と電動キックボードの安全利用の促進

- ①二輪車の安全利用の推進
- ②電動キックボードの安全利用の促進

(3)飲酒運転等危険運転の根絶

- ①飲酒運転の根絶
- ②妨害運転の防止
- ③ながら運転の防止



(4)各市町交通安全対策協議会等が決定する事項の推進

静岡県農業協同組合中央会
静岡県農協暴力防犯対策協議会

理事会だより

定例理事会:5月23日(火)

■ 議事

- 2022年度貸借対照表、損益計算書及び注記表の内容並びに会計監査人の会計監査報告及び監事の監査報告並びに事業報告及び剰余金処分案について
【通常総代会提出議案及び報告事項】
- 2022年度決算部門別損益計算書について
- 第51回通常総代会の開催について
- 「マナー・ローダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」との「ギャップ分析」の実施について
- 固定資産の賃借について



編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

 先日チャパティを焼いて、カレーと一緒に食べた。インドの薄焼きパンと言えばナンがメジャーだが、本国の家庭料理で出てくるのはほとんどがチャパティ。油分が少なくあっさりとしていてうまい。日本の白米と違ったところか。(伊藤)

 由比のさくらえびまつりが盛況のうちに終了した。あいにく雨模様だったが、JA青壮年部の勢いは雨を何するものぞ、ポン菓子の爆音その後、雨を上げさせたかのよう。祭りの熱量と心地よい疲労感を持って家路に就いた1日。(横谷)

 映画化もされた「ビリギャル」著者が書いた、心理学による性格診断の本によると、人は9タイプに分けられるらしい。診断テストに答えていくと、私は楽家タイプだった。確かに「ま、いっか」と思うことが多い。(杉山さ)

 横浜に数回行く機会があり、1度目は横浜中華街を観光するも、あまりの人の多さにビックリ。人気の店に入ることができませんでした。2度目の横浜は1度目の反省から、ハンバーガーチェーン店で昼食を済ませました。(見宮)

 人間にとって梅雨はうつうつしいが、農産物には恵みの季節。科学がどんなに発達しても自然と勝負することはできない。自然と共生する農業はたくましい。こんな季節は、きりっと冷やした吟醸酒と季節の野菜で気分を変えたい。(杉山滋)

ゆるっと発見!

しずみの魅力

第4回
今回のゴール
東海道の名所「薩埵峠」

浮世絵「由井 薩埵嶺」の富士を求めて

由比支店から、東海道を西に向かいます。街道には、桜エビ、はんぺんなどの港町・由比ならではの販売店が多く、漁業関係者の車が行きかいます。「食べ比べも良いな？」などと思いつつながら、途中、由比漁港に。狭い道を左折し、高さ2・2メートルのJR東海道線のガード下をくぐると、緑の山を背に浮かぶ、白い漁船がきれいです。



① 薩埵峠/車は他県ナンバーばかり。名所としての知名度は全国でも有数です。

る桜エビのゲートが見えてきました。少し行つて道を右に曲がると、江戸の面影を残す格子の家々があり、小池邸(※1)が拝観可能だったのでお邪魔しました。このあたりには10軒ばかりの休み茶屋があり、江戸の旅人はここで疲れをいやしたとの事。「間の宿(あいのしゆく)川島家」、明治天皇が小休した「脇本陣 柏屋」、幕末に山岡鉄舟をかくまい隠し階段から逃がしたという「望嶽亭藤屋(ぼうがくていふじや)」



② 東海道名主の館 小池邸(※1)/国の登録有形文化財にも指定されています。

ここから道は急坂に。覚悟を決めて上ります。取材の日は5月末。まだビワや夏ミカンがそこかしこになっていました。しかしさすがに急こう配。電動アシスト自転車ですが私の脚では厳しかったので押して上ります。眼下には交差した道路が見えてきました。振り返ると海、山、富士山、絶景。ようやく薩埵峠に到着。この景色には江戸の人々もさぞテンションが上がっただろうと思えました。



③ 由比桜えび通りのゲート/「エビ」の完成度にびっくり!

地域クローズアップ
〈由比地域〉



グリーンセンター由比店(由比支店内)。毎週金曜日にはお総菜やお弁当が並びます。地元の味で人気!